

今月は、人事総務部の業務監査を行いました。

理事の活動



加賀 千鶴子 理事

お気に入りのコープ商品

セフター
漂白剤入り



今回は第19回通常総代会で新しく役員となった加賀理事の自己紹介です。2011年7月から石川西地域協議会で協議委員として活動してきました。



コープいしかわに期待することは?

買い物に困っている人や地域のために、県内全域で宅配や夕食宅配、移動店舗などの利用ができるよう、誰もが安心して生活できるための事業の実現を期待します。



大切にしている思いは何ですか?

人と人とのつながりを大切に、何事にも一つ一つ丁寧に取り組んでいきたいと思っております。



今後の抱負をお願いします

たくさんの組合員さんとの出会いの中で、皆様の意見や思いを受け止め、そのことを大切に活動していきたいです。

理事長コラム

『宅配事業実践事例全体交流会』

総代の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。日に日に秋らしさが増しているように思います。

先月号の末尾に、「私たち職員は組合員さんから学んだこと(中略)、生涯にわたって大きな財産となっていきます。その経験が、一人ひとりの組合員の声を受け止め、実践(仕事)を通じて、組合員と職員が一緒になって「声」を実現していく原動力になります」と記載しました。コープいしかわでは、人材の育成の指針として「できている人に学ぶ」ことを基本方針としています。その方針を実感する場として、職員の実践事例を学びあう実践事例報告会を、宅配事業、店舗事業、福祉事業それぞれに開催しています。

先日、宅配事業の実践事例交流会を約200名の役職員の参加で開催しました。当日は、6名の組合員理事と2名の協議委員にも参加をいただき、各部署から6つの実践事例報告がありました。参加された組合員理事と協議員からは、「職員が組合員を大切に思っていることが理解でき、多くの組合員に伝えていきたいと思えます」というコメントを寄せていただきました。

実践事例には、組合員と職員の知恵が込められています。実践事例を学ぶと同時に、重ねられた知恵も学び、実践が広がることで、新たな知恵を産み出す源泉となります。そして、何より大切にしたいことは、実践事例を聴き、「組合員に喜んでもらうことが職員の喜びに、職員の喜びがチームの喜びに」を感じることができ、皆で一步目を踏み出す勇気が持てる組織になることをめざしています。

10月には、県内各地で秋の総代会議が開催されます。組合員の声を出発点に、声の深まり広がるコープいしかわをめざして、一歩ずつ進んでいきたいと思えます。



理事長 大谷 学



方針に沿った事例を報告

報告の受け止めや感想を交流する理事